

令和3年度 埼玉県小学生バレーボール連盟常任理事会会議 議事録

期 日 2022年3月13日(日) 10:00~11:00
会 場 ZOOM
出席者 山下会長・有井副会長・小俣理事長・北田副理事長・笠原副理事長・大澤副理事長・
飯塚副理事長・金子常任理事・石田理事(代)・栗原常任理事・梅田理事(代)・
宮崎常任理事 書記：古田
会長挨拶 先週に引き続き参集いただいた。継続協議案件につき慎重審議をよろしく願います。
議 題

1. 協議事項

(1) 全日本小学生バレーボール大会(女子)の開催方式について(全県方式 or 地区方式)

・小俣理事長より正副理事長会議での審議により「全県方式」での提案があった。理由は他地区へ移動すれば大会を開催できる可能性が大きくなる事例もあるため。

○宮崎北部委員長 正副理事長会議での判断であれば協力したい。

○石田東部副委員長 地区で開催できたらと思っていたが協力したい。

○栗原西部委員長 協力する。大会期間中、再び宣言発出となることもあろう。

○梅田南部副委員長 全県方式であれば、ありがたい。やれることを協力したい。

→小俣理事長 全県方式で一致したようだ。選手にバレーボールの場を提供することが重要であると考える。各地区委員長より、所属チームに理解してもらえるよう説明いただきたい。 全員了

(2) 全日本小学生バレーボール大会(女子)の予選について

・北田競技委員長より決勝大会参加数により女子が3次予選まで行う想定もあると確認があった

○有井副会長 何とか工夫して短縮することはできないだろうか。

○石田東部副委員長 感染リスクからも試合日数は減らしたい。ラッキーブロックを設定するなど。

○北田競技委員長 チーム数から勘案しラッキーブロック採用は公平性を欠く。現段階では大会要項に参加チーム数を掲載しない方向ではいかがか。

○小俣理事長 決勝大会参加を12チームにしてはいかがか。

○石田東部副委員長 今回は12チームとし、全チームが1日2試合出来るならいいことだと思う。

○梅田南部副委員長 参加数を32チームへ増やした経緯からも安易に減らすことはいかかなものか

→小俣理事長 4/17 申込〆切後、理事会開催し、チーム数を確定してはいかがか。 全員了

○大澤総務委員長 理事会はリモート会議とし4/23または24夕刻に開催を予定する。

(3) 全日本小学生バレーボール大会の要項について

・北田競技委員長より今年度は諸々の説明があるため大会要項の開示を総会時としたい旨の確認があった。例年は3月中に通知し総会で申込受付を行ったが、今回はWEB受付で〆切が4/17であるため

○石田東部副委員長 問題無いと考える。参加数2名(チーム)も適当だと思う。

○梅田南部副委員長 大会要項は事前に読んで、総会時に説明や質問等で確認がしたい。

○小俣理事長 事前開示でいかがか。「質問は総会時に受付ける」の一文を付す。

→北田競技委員長 4/1(金)HP掲載とする(MRSは年度切り替えのため利用不可)

○小俣理事長 各地区委員長が地区への浸透をお願いする。地区委員会の在り方を考える時期になっているように思う。